

アジア太平洋運動史の構築： 「小さき旗上げ」の宣言

梅森直之(政治経済学術院)
2007年11月2日
GCOEワークショップ

プロジェクトの内容

- 一体化が進むアジア太平洋地域の歴史を、人と理念の移動とネットワークという視座から研究する拠点を設立する。本センターは、広くアジア太平洋地域の国際連帯をめざした運動家や組織についての情報を集積し、整理・公開する研究拠点となることをめざす。
-

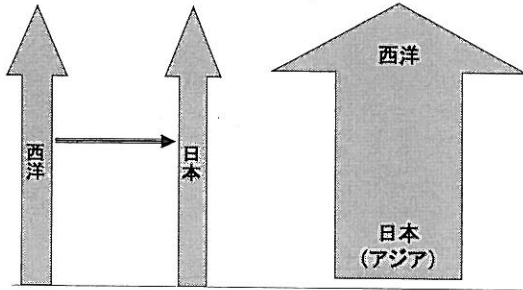
プロジェクトの意味

- 近代的な学問分野としての歴史学は、近代国民国家の発達と軌を一にするものであり、そこにおいて歴史は、もっぱら国民を主題とする国民のための物語として発展した。
 - しかしながら、現在進展するグローバリゼーションは、こうした国民史という旧来の歴史パラダイムを時代遅れなものとしている。
 - 本プロジェクトを通じて、グローバル化した社会に対応しうる、新しいアジア太平洋地域の歴史パラダイムの構築をめざす。
-

認識論的課題：近代化理論の桎梏

- 西洋市民社会との比較によって明るみに出された日本社会の「遅れ」を問題化(丸山真男)
 - 西洋的「時間」のモデル化／「空間」の時間への変換(サイド「オリエンタリズム」)
 - オクシデンタリスト的なナショナリストの批判を誘発(坂本多加雄)
 - 西洋中心主義的な世界観そのものの批判的解体へ
-

近代化論パラダイム:
日本VS西洋



認識論的刷新: 3つのR

- Re-contextualization
 - 地域間の相関性
- Re-conceptualization
 - 共通性と同時性
- Re-writing

領域横断的歴史パラダイム



明治維新をめぐる解釈

- 近代化論的パラダイム
 - 後発国型のゆがんだ市民革命
- ナショナリスト的ディスコース
 - 文化的伝統と民族的一体性に立脚した平和な体制変動
- アジアの「ハブ」、「分電盤」としての日本
 - アジア(=世界史的・同時代的コンテキスト)の不在

From the Memoir of Sir Rutherford Alcock

- If we fall into active antagonism, of which there has been a constant danger, despite the best efforts of European Diplomacy to avert it as a great national calamity, there can be just as little doubt that the Japanese would be over-matched and vanquished. But yet, under the simple relation of conquered and conquerors, looking to the difference of race and character, and the striking contrast in purpose, mental constitution, and appreciation of each other—the struggle once over they could be no possible fusion... We cannot hope or desire to absorb their civilization as the Spaniards did that of the Mexicans.
 - Rutherford Alcock, *The Capital of the Tycoon: A Narrative of a Three Years' Residence in Japan*, 2 vols., vol. 1 (London: Longman, 1863)

これまでの研究から①: 権力の旅程

- 明治初期の警察・監獄制度の形成
 - UMEMORI N. (2002) MODERNIZATION THROUGH COLONIAL MEDIATIONS: THE ESTABLISHMENT OF THE POLICE AND PRISON SYSTEM IN MEIJI JAPAN. PhD Dissertation, University of Chicago.
- 植民地における展開
 - 梅森直之 (2006) 変奏する統治: 20世紀初頭における台湾と韓国の刑罰・治安機構. In 岩波講座『帝国』日本の学知』第1巻「帝国」編成の系譜. Edited by 酒井哲哉. pp 43-81.

これまでの研究から②: 対抗運動の歴史

- 19世紀後半の初期グローバリズム
 - 梅森直之 (Editor)(2005) 帝国を撃て: 平民社 100年国際シンポジウム. 論創社.
 - 梅森直之 (Editor)(2007) ベネディクト・アンダーソン グローバリゼーションを語る. 光文社.
- 20世紀半ばのアメリカの日系移民の思想史
 - 梅森直之「鉄条網のなかの民主主義講座」(荒このみ、生井英考編『シリーズ・アメリカ研究の越境 6 文化の受容と変貌』(2007年、ミネルバ書房)

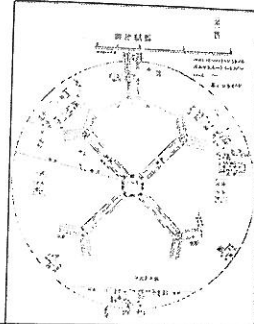
若干の理論的成果: 明治国家の植民地的性格

- 二つの旅
 - 香港における警察調査→1872年10月に建議
 - 西洋における警察調査→1873年10月に建議
- 前者の不在、後者の過剰
 - 社会文化的共通性
 - カンニング効果

具体例①: 違式註違条例(1872)

- 第九条 春画及び其ノ類ノ諸器物ヲ販売スル者
- 第十二条 男女入込ノ湯ヲ渡世スル者
- 第二十二條 裸体又ハ袒裼シ、或ハ股脛ヲ露ハシ醜体ヲナス者
- 第四十一條 下掃除ノ者蓋ナキ糞桶ヲ以テ搬送スル者
- 第四十九條 市中往来筋ニ於テ便所ニアラザル場所ヘ小便スル者
- 第六十二條 男ニシテ女粧シ、女ニシテ男粧シ、或ハ奇怪ノ扮飾ヲ為シテ醜体ヲ露ス者

具体例②: 監獄則(1872)



具体例③: 笞杖刑の旅程

- Flogging (=笞刑), corporal punishment executed through blows and lashes, is largely used in pre-Meiji Restoration (~1868).
- The first Meiji penal code, *Shinritsu Koryo* sanctioned flogging as punishment, emulating the *Ch'ing Code* (1871).
- The first Western Style penal code, *Keiho* abolished flogging, emulating the French Criminal Law (1882).
- "Flogging Ordinance" in Taiwan reintroduced flogging (1905) and was emulated later in Korea (1912).
- Abolished in Korea in 1920 and in Taiwan in 1921

Reply to the Critique by the Government-General

- Flogging is
 - humane,
 - civilized,
 - sophisticated

